



ART&EVENT

間近で見たいアレコレ!

ART&EVENT

RECOMMENDER 赤木真弓

編集者・ライター。書店「greenpoint books & things」の店主。「憧れのブルーヴェェの椅子など、家具を実際に観られるのが楽しみ」

ブルーヴェェの仕事を幅広く紹介する、大規模な展覧会

PICK UP

『ジャン・ブルーヴェェ展 椅子から建築まで』

7月16日(土)~10月16日(日) / 東京都現代美術館 / 10:00~18:00 ※入場は開館30分前まで / 月曜休館(ただし7/18(月・祝)、9/19(月・祝)、10/10(月・祝)は開館、7/19(火)、9/20(火)、10/11(火)は休館) / 一般¥2,000 / <https://www.mot-art-museum.jp>

RECOMMENDER'S POINT

本展をもっと楽しむポイント

□ ハイライトは解体・移築可能な建築

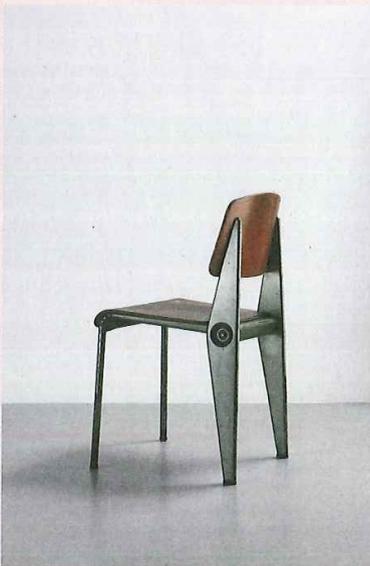
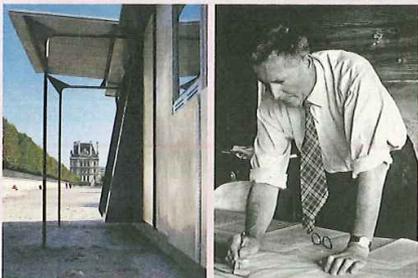
自らを構築家と呼ぶブルーヴェェの、建築へのアプローチにも焦点を当て、15点以上の建築プロジェクトも紹介。インタビュー上映も。

□ ブルーヴェェが考案した新技術

解体・持ち運び可能な椅子やプレファブ建築など、新技術を開発。アルミニウム製のサンシャッターも、ブルーヴェェのアイデア。

□ 建築家ル・コルビュジエからも高く評価

建築界の巨匠ル・コルビュジエや、建築家・デザイナーのシャルロット・ペリアンらとの交流で生まれた家具に注目。



建築家ジャン・ブルーヴェェ「ジャン・ブルーヴェェ展」1998年 © Galerie Perrot Seguin, 1997 © 1997/10/11
エッセイ「ジャン・ブルーヴェェ」1998年 © 1998/10/11 © 1998/10/11 © 1998/10/11 © 1998/10/11 © 1998/10/11
ブルーヴェェ「ジャン・ブルーヴェェ展」1998年 © Galerie Perrot Seguin

20 世紀の建築や工業デザインに大きな影響を与えた、フランスの建築家、デザイナーのジャン・ブルーヴェェ。1990年代以降再び評価が高まり、国内外で高い人気を誇る、ブルーヴェェの大規模展覧会が開催されます。

1901年、アール・ヌーヴォーの画家の父と音楽家の母のもとに、パリで生まれたジャン・ブルーヴェェは、幼少期よりものづくりのセンスを養います。産業と芸術の融合を図ったアール・ヌーヴォーの一派であるナンシー派の影響下で、若くして金属工芸家としてのキャリアをスタート。1924年に初めて、自身の工房を構えます。アルミニウムやスチールといった新たな建築素材を探究し、実験的かつ近代的な制作へと転換。家具の制作から建築へと領域を広げていきます。第二次世界大戦中はレジスタンス運動に参加し、ナンシー市長に、フランス復興計画の一環としてプレファブ住宅を考案するなど、革新的な仕事を次々と生み出しました。

本展では、現存するオリジナル家具およそ100点、図面などの資料の展示に加え、移築可能な建築物の展示を通して、デザイン、工芸、建築など、ひとつの分野に収まることのない、ブルーヴェェの仕事を幅広く紹介。テーブルやベンチ、脚立のほか、工業生産へと移行するきっかけとなった折り畳みテーブルのプロトタイプなどを含む代表作から、長年取り組んだ椅子の開発、国外に市場を広げようと制作された家具やアルミニウム製のファサードまで展示。また、フランスの建築史において重要である建築プロジェクトは、図面や資料映像などを通して紹介されます。

デザインと生産をトータルに捉え、新たな技術や素材を常に探究し続けたブルーヴェェ。インテリア好きの人も必見の展覧会です。